

暑い夏は、夏野菜が元気です

8月に雨が降ったのは、7月29日の台風12号以来久しぶりの雨になった16日と、31日のドシャ降りの夕立のみ。水やり表を作って、毎日、毎日、せっせと水やりをしたおかげでしょうか、ナスやキュウリやコリンキーが大豊作！うれしい悲鳴が続いています。

気温が高すぎて不調のトマトに代わって、今年のクッキングトマトは頑張っています！生でサラダにして食べてもおいしいという品種を初めて作っています。ところが、何ものかが、夜の間にハウスの中に侵入。どこから入っているのかわからず、数日にわたってトマトを食べられてしまいました。仕方なく、夜はハウスのサイドのシートを下ろして、入られないようにしています。



〈ガンバル！ 夏！〉

これは1回目の地ばいキュウリ。元気です！

続いて、2回目の地ばいキュウリの収穫が始まっています。

そのうえ、7月初めから収穫している最初のキュウリも、まだまだ元気！

日の入り前の畑に現れたのは…

そのトマトのハウス、太陽の出ている間は暑くなってしまうので、サイドのシートを下ろしてハウスを閉めることができません。夕方、日の入りの前に閉めに行くことになるのですが…。畑に向かう途中、3匹のイノシシが左側の畑の斜面に現れ、軽トラの目の前を横切って右側の山へ入って行ったり、ある時は、大きな角のある鹿が前方の山に現れたり。

今年は、イノシシの大好物のカボチャやサツマイモを作っていないので、イノシシに柵を壊して畑に入られてはいませんが、そこに彼らが“いる”ことは、間違いありません。



〈ガンバル！ 夏！〉

紫ササゲ、元気です！

支柱の立て方を少し工夫しただけで、葉っぱの茂り方が変わりました。

天ぷらが、すごくおいしい！

☆夏野菜のお届け状態はいかがでしたでしょうか？☆

☆この夏は普段にも増して、気温の高い日が続きました。

気をつけて出荷しているつもりですが、ナスやキュウリなど、しなびたり、傷んだりしていませんか？

☆お気づきのことなどありましたら、どうぞお知らせくださいますようお願いいたします。



〈ガンバル！ 夏！〉

大切なクッキングトマトが、食べられてしまいました。

ハウスのサイドのシートを押さえるマイカ線をかみ切つて、ネットの下をくぐり抜けて、何ものかがハウスの中に侵入。

いったい、犯人は???

〈9月の野菜〉

□露地の畑では、地ばいキュウリ、ナス、米ナス、緑ナス、オクラ、間引きゴボウ、人参、ズイキなどが収穫中。

初旬には、冬瓜や四角豆の収穫が始まる予定です。

□ハウスの中では、ミニトマト、クッキングトマト、バジル、ししピー、ピーマン、紫ササゲなどが収穫中。

カラーピーマンが、スタンバイ中です！

畑の生き物(昆虫編)

畑で作業をしていると、イノシシや鹿、様々な鳥や虫たちが目に入ってきます。今回は、その中でもよく目にする昆虫について書いてみたいと思います。

アリとアブラムシとテントウムシ

樹液を吸ったり、ウイルス病を媒介したりするアブラムシ。小さいけれど爆発的な繁殖力を持つので、厄介な虫です。このアブラムシの天敵が、テントウムシで、幼虫、成虫共にアブラムシを捕食してくれます。

アリはアブラムシの出す甘露をもらい、アブラムシを外敵から守る、相利共生の関係があるといわれますが、いつでもアブラムシを守っているわけではなく、アブラムシの甘露の質が悪いと、アリはアブラムシを食べてしまうこともあるそうです。



蜜を求めて花に群がるアリと、羽化したばかりのテントウムシ、まだ点がはっきりしていません。

蝶・蛾

成虫はきれいな色や模様の翅をもっていて、好感度の高い虫たちですが、その幼虫は様々な野菜を食い荒らす害虫です。たとえば、モンシロチョウはアブラナ科の野菜、白菜やキャベツ、キアゲハはせり科の人参やパセリの葉、キイロスズメは里芋の葉などを食害します。

天敵は、後述のアシナガバチやクモ、カマキリなどです。



キアゲハの幼虫とキイロスズメの成虫。

ハチ

花の間を飛び回って、蜜を集めて回るミツバチやマルハナバチは、キュウリやカボチャなど虫媒花の受粉もしてくれる大切な虫です。おとなしい性質で、蜜集めの花の周りで作業をしていると刺されたことはありません。

アシナガバチは餌としてアオムシや毛虫を捕食してくれます。巣を脅かされると攻撃してきますが、巣の近くで作業をしなければ、刺されることはありません。

スズメバチは畑の中で見かけることはほとんどありませんが、作業用のハウスの中には時々やってきます。昨年は、小分け作業台の下で作りかけのヒメスズメバチの巣を見つけました。



足に花粉玉を付けたマルハナバチ

虫を捕食してくれる虫たち

クモ・カマキリ・アブ・トンボなど

畑の中いたるところに巣を張っているクモ。収穫中に顔に巣がくっついてびっくりすることもあります。ガなどを捕食してくれる益虫です。大きなものから小さいものまでいろいろな種類を見かけますが、多いのはジョロウグモとコガネグモです。

先日、大きな羽音がしたと思ったら、足元でトンボがアブを捕まえたところでした。押さえ込んだアブを、頭から食べていました。畑ではオニヤンマ、シオカラトンボ、イトトンボなどをよく見かけます。これからの季節、赤とんぼの間も見かけます。

作業中にやってきて、腕や肩にとまって血を吸おうとするアブですが、血を吸う以外にもガなどの虫を捕まえて食べています。害虫を食べてくれて役に立っているアブですが、トンボに襲われることもあり、少しかわいそうな気がします。



コガネグモとカマキリの抜け殻



ガを捕まえているアブの仲間とアブを捕まえているシオカラトンボ